

外国語教育研究ジャーナル投稿規定

概要：言語教育に関する研究論文、研究報告、及び書評を年1回出版

I. 投稿資格

1. 執筆者は（共著の場合はファーストオーサーのみ）、原則として現職の外国語教育研究センター所属教員とする。特別号、特集号などの場合はこの限りではない。
2. 投稿論文はそのカテゴリーを問わず1教員につき1本までとする（共著による論文も一本と数える）。ただし、投稿論文数によっては、Journal & Research 委員会による決定を経て掲載号・論文枚数等の調整を受ける場合がある。
3. 投稿論文は過去に出版されておらず、他のジャーナルに現在投稿されているものではないこと。

II. 使用言語

原稿執筆にあたっては、センターに所属する教員が広く互いの研究及び知識の共有を活性化するにあたり、原則として日本語あるいは英語での執筆を基本とする。朝鮮語、中国語、フランス語、ドイツ語、スペイン語による原稿執筆も可。

III. 執筆要項

投稿原稿は未公版のものに限る。

1. 原稿の種類は、次のいずれかの区分に属するものとする。区分は執筆者が判断するが、ジャーナル & リサーチ委員会が確認し、必要に応じて、変更を促すこともある。
 - (1) 研究論文：当該分野で一定の結論を出し、その分野に貢献すべき内容が分析、議論されているもの。従って、執筆者は少なくとも、セクションとして導入と結論を明記し、先行研究を踏まえた当該論文の位置づけ、分析や議論（またはそれに代わるもの）にあたる記述を含めること。
 - (2) 研究報告：当該分野における研究の進捗状況を公表し、将来その分野において貢献すべき可能性のある研究経過をまとめたもの。
 - (3) 書評：書籍や文献を紹介しまとめたもの。
2. 書式は以下の項目全て可能な限り厳守すること。
 - (1) 原稿サイズ
A4版を使用し、上下各25mm、左右各25mmずつあける。
横書きでフォントは日本語（MS明朝）、英語は（Times New Roman）12ポイントを使用。その他の言語のフォントは同一論文内で齟齬のないよう当該言語における学術論文で一般的に使用されるフォントを選択し使用する事。行間は1行とし、本文は左揃えとすること。
 - (2) 字数
研究論文：20000字程度
研究報告：6000字程度
書評：2500字程度
図表、参考資料、参考文献、注、Appendixなど全て含める。なお、図表については、明瞭なものを当該箇所へ貼りつける。貼り付けられない場合は、別ファイルを用意し、挿入箇所を明示する。
 - (3) 原稿タイトル
18ポイントでセンタリングし、各文字を太字にしたスタイルに従う。フォントは上記書式に従う。
 - (4) 氏名
右寄せ、ゴシック体で12ポイントとする。タイトルとの間は1行あける。

(5) 要旨

全ての原稿に、要旨と3～5項目のキーワードをつけること。要旨は500字程度で執筆すること。書式は、左右15mmずつ全行インデントし、フォントはMS明朝、11ポイントを使用する。尚要旨の言語は執筆言語に関わらず英語あるいは日本語とする。

(6) 本文への註釈は、対応する註記を各ページの下に9ポイントで表記する。

IV. 原稿の提出

3. 原稿の提出は、電子メールにてジャーナル&リサーチ委員会宛に (fler_journal_submission @ ml.rikkyo.ac.jp) に送信する事。

4. 提出書類は、次の通りとする。

(1) 投稿原稿 1部 (A4版に印刷されたもの)

(2) 投稿内容を収めた電子媒体 (電子メールで送信)

(3) カバーシート

a) 著者名 (日本語の場合は日本語とカタカナ読みを併記すること)

b) タイトル (日本語の場合はカタカナ読みも併記)

c) 原稿区分

d) 担当言語

V. 脚注および参考文献の形式

原則的にAPAスタイル (第7版) を用いること。執筆者の責任において同一論文の中で齟齬のないよう確認すること。英語以外の言語での執筆の際は、APA (第7版) の形式に可能な限り沿うよう配慮すること。剽窃を行わないよう十分に注意すること。

VI. 投稿開始及び締切日

投稿の受付は毎年4月春学期の開始から行う。初稿の提出締め切り日は6月初週最終日とする。

VII. 査読に関して

研究論文カテゴリーへの投稿は、匿名の査読員1名による査読が行われる。査読は規定のルーブリックを用いて行い、査読員は任意のコメント、修正案等を追記する事ができる。査読終了後 Journal & Research 委員会より、春学期終了前までに執筆者へ査読結果を報告し校正等の打診を行う。研究報告及び書評への投稿は原則として査読は行わない。但し基本的な内容及び体裁のチェックを Journal & Research 委員会が行い、掲載可否を判断する。

VIII. 校正及び再提出

査読を受けた執筆者は、論文の校正を行い、秋学期第1週目末日までに再提出を行う。校正後の原稿は Journal & Research 委員会による最終確認を経て掲載可否の判断を行うものとし、執筆者に結果を通知する。尚出版社より体裁等の修正依頼があった場合は、再度の校正を執筆者に依頼する場合がある。

IX. 出版

当該ジャーナルは毎年12月に出版される。

X. CiNii 及び立教リポジトリへの登録

掲載された論文は、外国語教育研究センターへ掲載され、CiNii (国立情報学研究所論文情報ナビゲーター [サイニィ]) 及び立教大学学術リポジトリに登録される。

その他の要件

1. 原稿料は支払わない。
2. 掲載された論文の著作権は、原則として立教大学外国語教育研究センターに帰属する。ただし、著者が著者自身の研究・教育活動に使用する際は、許可なく使用することができるものとする。
3. 万が一出版後、剽窃等の不正が発覚した場合は当該論文をジャーナルから削除する。